

全行程 25.5KM のトレッキング

2014.5.23 曇り

礼文島 8 時間コース（全長 24KM）の予行練習として同じ位の距離を歩こうと思っていました。膝・腰が弱ってしまったし、礼文島の宿の予約の際にも「単独行」は避けて下さいとも言われている。事前に同じ位の距離を歩く事によって、歩けるか？、又宿を説得するためにも必要性があるので。長野県観光協会発行の「信州を歩こう」ガイドブックを参考にコース設定しました。「安曇野眺望、光城山・長峰山コース」（13.5KM）と「旧国鉄篠ノ井線廃線敷コース」（往復 12KM）の両方を歩くと 25.5KM、明科駅を起点にうまく設定できます。24 日の方が天気予報は良いのですが、25 日にイワナ釣りの約束があり、体力的に中 1 日置いた方が無難なので 23 日に決行しました。

自宅 5:55~6:10 明科駅 6:20~JR で 6:27 田沢駅~7:55 光城山（標高 912M）
8:00~8:40 天平の森 8:45~9:00 長峰山（934M）9:20~9:55 長峰荘 10:00~10:40 明科駅~10:55 線路敷入り口 潮神明宮 11:10~13:15（途中の東平の東平庵で 25 分会話）線路敷終点の旧第二白坂トンネル 13:25~14:00 けやきの森自然園 14:20~15:20 明科駅。（明科駅発着所要 9 時間、休憩合計約 2 時間）

田沢駅から歩きます



光城山登山口



光城山と長峰山は北アルプスと安曇野が一望できる絶好の展望地。昭和 45 年、作家の川端康成、井上靖、画家の東山魁夷氏が一堂に会し「残したい静けさ、美しさ」と絶賛した地です。生憎の天気でしたが難なく長峰荘へ。



←晴れていれば北アルプスの展望台、
槍ヶ岳も見えます

長峰山から安曇野



此処から線路敷入り口までは住宅地の中を歩く、庭木や家並みを眺めながら。いよいよ線路敷へ。最近では安曇野市も観光地として力を入れていて、ツアーも含めて人気になっています。明治35年開通から昭和63年廃線になるまでの86年間、人と荷物の足を務めました。私も松本と長野の往復に蒸気機関車（SL）の牽引する列車に何度も乗車しました。汽笛・石炭の煙の臭いなどが懐かしいです。又国鉄マンとしても別の意味で感慨深いコースです。

歩いて来た右、光城山と長峰山を振り返る



コース内には開通当時の煉瓦造りのトンネルや水路があり、鉄道防備林として植えられた3万本のケヤキ林の新緑が美しかったです。途中の東平庵では無料のお茶のサービスもあり、又SL等写真の展示等もあり、つつい家主と長話をしてしまいました。なおこの区間はスイッチバック等のない新線が開通したので廃線となりました。

新線です

潮神明宮の駐車場、ここから廃線敷が始まります



案内版



駅案内版



煉瓦造りと石炭すす



ここで終わり



閉鎖されたトンネル



ストックは持参しましたが使いませんでした。20KM すぎから膝に違和感、23KM 位からは腰に違和感（共に極軽い痛み）も出ましたが歩き通す事ができたので、礼文島 8 時間コースは大丈夫だと思います。ただ花や景色も見たり・撮影したりでかなりの時間がかかりそうです。なおこのコース歩きの細部は「ブログ」に連載します。見て下さい。

[赤沼健治のブログ](#)